

令和5年度 第3回名取市社会教育委員の会議概要記録

○日時	令和6年1月24日(水) 午後1時30分より
○場所	仙台法務局名取出張所 2階 会議室4
○出席者(7名)	玉野井ゆかり委員、和栗 幸一委員、本郷 一浩委員、久米 智美委員、齋藤 勇介委員、金野 智津委員、鈴木 雅行委員
○欠席者(3名)	大野 英子委員、伊藤 恵子委員、入間川 徹委員
○事務局出席者	教育長 瀧澤 信雄 生涯学習課 課長 佐藤 徹也 課長補佐 佐藤 浩 " 生涯学習・青少年係長 菊地 栄一 図書館長 加藤 孔敬
○傍聴人	なし

会 議 概 要

1 開 会 進行：佐藤課長補佐

2 あいさつ

瀧澤教育長

本日はお忙しい中、委員の皆様にお集まりいただき感謝する。名取市と上山市が姉妹都市であるということをご存知とは思いますが、震災で一時中断していた海の子山の子交歓会であるが、夏は名取市で、1週間後の2月3日から4日には蔵王の坊平高原で名取市と上山市の併せて50名位の子供達に参加してスキー等の交流を深めることとしている。

今日は次年度に向けての教育基本方針、公民館、図書館の運営方針について提案させていただく。委員の皆様から忌憚のないご意見を頂戴したい。よろしく願いたい。

鈴木議長

能登半島の震災のニュースに皆様も心を痛めていると思う。東日本大震災を経験した私たちが、被災者の大変さというのは身に染みて感じる所である。行政の方やボランティアの方々が応援に行ったり、学校や中学生が募金活動をしているというニュースを見ると、日本はまだまだ優しいし、大丈夫だと感じている。地域力を活かして地域の諸活動の課題解決に向けて頑張るとするのは、社会教育の意義にも通じると気づいた。地域の絆づくりを進める人々、今日の会議もそういう意味では大事な会議なのかなと思う。本日はよろしく願いたい。

会議成立の確認

名取市社会教育委員会会議規則第5条第1項により、委員過半数の出席を確認し会議成立を宣言。

会議公開の確認

名取市審議会等の公開に関する要綱第2条の規定により、公開の対象となる旨を告げる。

傍聴席を設けていたが、本日の傍聴者はなし。非公開の議事は予定していないが、非開示情報が含まれる内容となった場合、会議に諮り決定していくことを告げた。

3 前回会議の報告

前回会議の会議録を予め送付済みであり、一読されているということで報告に代えた。

4 議 事

名取市社会教育委員会議規則第3条第2項により、鈴木議長が議事進行

(1) 協議事項

ア.令和6年度名取市教育基本方針(案)について資料1

資料1について説明 (説明員:生涯学習課 菊地係長)

鈴木議長

ご質問ご意見等いかがか。なければ原案の通り承認でよろしいか。原案の通り承認とする。

続いて、令和6年度名取市公民館運営方針(案)についてお願いしたい。

イ.令和6年度名取市公民館運営方針(案)について資料2

資料2について説明 (説明員:生涯学習課 佐藤課長補佐)

鈴木議長

ご意見、ご質問等いかがか。

私からよろしいか。基本方針のところ、「学び合いで共につくる未来へつなぐ」とあるが、この学び合いは漢字を使っているが、その下の重点目標や具体的なものは、あえてひらがなの「あい」というのは、なにか意味があるのか。

事務局(佐藤補佐)

以前からこのような形となっており、整合をはかっていない状況である。他意はないかと思う。

本郷委員

町内会に携わっているが、役員の成り手がない状況である。会議の進め方もわからないような状況である。地域として自治活動がうまくいかない状況である。公民館で総会の進め方や会議の進め方を指導してもらうことはお願いできないものか。できる人に負担をかけている状況である。地域の自治が非常に弱体化していると思う。

和栗委員

これは、年度の引継ぎがスムーズに行われていないのが原因だと思う。公民館にお願いするのはどうかと思うが、そこら辺は、地域の方が参加することを考えないとうまくいかないのではないかと思う。特に名取が丘で活動している「見守り隊」は高齢者が多く、解散したいという話まで出てきている。このような実情があるので、今後どのように持っていくかが課題である。

斎藤委員

私も9年くらい自治会の役員を続けているが、次の後継者を決めないと抜けられない状況である。私は(山の方の)上の団地であるが、現役世代ばかりの地区なので仕事をしながら無理であるという方々が多いのと、少子高齢化を含め核家族が増えてきて、皆さん忙しい日々を過ごしているので、地域活動に馴染みがなかったり、地域の町内会も現役世代の場所ではない感覚を持っている方も多くそこに視点が向いていないと思う。私も活動していく中で、意識差が違うということを感じた。

運営方針案に戻ると、幅広い世代の地域交流の視点の中で見ていくと、例えば、ゆりが丘公民

令和5年度第3回名取市社会教育委員の会議 令和6年1月24日(水)

館の新春のつどいは、今まで地域の飲み会だったものが、今回は子ども達を視点に入れるということで、子ども達が親子で参加しやすくしていきましようというところで、申し込みもクラスで受付が出来るという形をとったところ、数百名の子ども達が親子で来てくれた。今までの形がいいという意見もあったが、大半の方は地域の中に子ども達の声が響くのが良いねといってくれたり、自分たちも当事者で参加するとなったときに、活動の位置づけも若い世代が入りやすくなったのかなと思った。球技大会も大人の球技大会だったのが、子供のドッチボールの競技ができたりと、そういう仕掛けをして公民館活動も変革していると感じた。こういう取り組みと地域の意識変革に繋がるような発信が公民館でできるといいなと思う。下増田公民館も合築したことによって、公民館事業に中高生も入ってきたり、公民館で活動している方々に子ども達が混ぜてもらって交流を誇ったりして、この基本方針にある「子どもから高齢者まで幅広く学びの機会を」というところを、ぜひ具体施策の中に具現化して地域の意識を高めたところを地域の自治会につなげていながら、より丁寧な地域力の向上につながる方針を基にしていればと思った。

和栗委員

新年会の集まりは何名いたのか。

斎藤委員

申込の時点で300名以上はいたと思う。当日参加申込もOKだったので、かなりの数がきた。

和栗委員

これは地区民運動会にもつながると思う。地区民運動会は地域の人が拒否している状況である。名取が丘は参加者が集まらなく中止になった。集まりがないために疎遠になっている。お話を聞いてとてもいいなと思った。

斎藤委員

全体の時間も2時間ぐらいなので、ひと通り回っていると最初から最後までいられて、そして健全育成会が準備した豚汁とおにぎりを食べて帰るという、充実した形だったと思う。

和栗委員

参加費は取るのか。

斎藤委員

コーナーによってはおまつりと同じように1つ50円だったり、無料で出来るものもあったりした。

本郷委員

うちの地域の小さい集落でレクリエーション大会を企画したが、児童も少数で集まりが悪かった。これまでの慣習として、ご祝儀をあてにして活動資金にしているものもあり、ご祝儀を持っていけないから参加できないといった心配もあると聞く。このままではよくないとは思いますが、運営資金をどうにか捻出しなければならないところもあり、難しいところである。

金野委員

先ほどのお話で、子ども達を巻き込むのはいいと思った。ボランティアなど子ども達は言えばやってくれる。そういうところからやっていければいいと思う。

久米委員

那智が丘は5年ぶりぐらいに新年会をしたが、大人だけで20人くらいだったが久しぶりで楽しく過ごした。公民館で餅つき大会をしたときに那智が丘小学校の児童と兄弟、親を併せて150人

令和5年度第3回名取市社会教育委員の会議 令和6年1月24日(水)

くらい来てくれた。親を巻き込んだり地域の方もご祝儀をもって参加してくれたりする。そこから若い世代のお父さんお母さん達を地域の役員に引っ張れるといいなと思うが、どのようにしたらよいか難しいところである。

本郷委員

今では会議を開催する際に、1か月前ではダメで、仕事をしている人からは2か月前から通知してほしいと言われる。日程調整が難しい。

久米委員

年度末に大体の行事を決めるので、文書や場所取りや募集など、公民館が間に入っていただくすごいスムーズになるので助かる。

和栗委員

役員は1人の人に負担がかかり、その方が体力の限界がくるまで引き受けていただいている町内会が多いと思う。引継ぎもわからないからできないと言われる。私も後任の方を探しているが、なかなか難しい。

本郷委員

地域づくりはなかなか厳しい状況になっている。

鈴木議長

皆様から地域づくりについての厳しい状況をお聞きし、そこに公民館のサポートが少しでも入ったら助かると思う。親を巻き込むためには、ここの理念にあるように地域の子も達にボランティアや活動の機会を与えて、実際動きが出てきているので、公民館の方でも推進して行って欲しいというニュアンスの意見が出た。事務局の方からいかがか。

事務局(佐藤課長)

今、お話があったような地域の担い手について直結するような課題解決には至らないが、来年度は多世代交流事業に対しての助成金を要求している。各地区で地区民体育大会を開催できなくなっている状況も踏まえ、そちらに代わるような多世代交流型の事業を公民館の方で実施し、斎藤委員がお話したような事業、子どもから大人までがふれあえる事業に対して補助金の予算を出すという形で、それが認められれば各地区公民館で小規模になると思うがそういった事業を実施していただくよう計画をしている。皆様にも相談等があるかと思うので、その時はお力を貸していただきたい。

鈴木議長

他に意見等いかがか。

他になければ、令和6年度名取市公民館運営方針(案)については原案の通り承認でよろしいか。原案の通り承認とする。

次にウ、令和6年度名取市図書館運営方針(案)についてお願いしたい。

ウ.令和6年度名取市図書館運営方針(案)について資料3

資料3により説明 (説明員: 図書館 加藤館長)

鈴木議長

ただ今、説明があったが、ご意見、ご質問等いかがか。

令和5年度第3回名取市社会教育委員の会議 令和6年1月24日(水)
なければ令和6年度名取市図書館運営方針(案)について、原案の通り承認でよろしいか。
それでは事務局原案のとおり承認としたい。

(2) その他

事務局より、二十歳を祝う会についての概要報告とお礼を述べた。

(議事一切を終了。鈴木議長、降壇。)

5 閉 会

14:15 終了

以上